

意見交換会の現状と参加者の主な意見

輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会について

(1) 意見交換会の構成

リスクコミュニケーションの説明(10分)

輸入食品の安全確保について(35～45分)

残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について(35～45分)

休憩(10分)

パネルディスカッション及び意見交換(90～120分)

- ・パネリストは各開催地の道府県内の消費者代表1名、生産者または食品関係事業者1名、地方行政関係者1～2名に参加をしていただいた。各会場には食品安全委員会、農林水産省にもパネリストとして出席いただいた。
- ・コーディネーターは千葉会場のみ外部の有識者に依頼した。

(2) 参加者の構成

(申込み段階の7回分の合計より)

消費者	食品等事業者	マスコミ関係	行政関係者	その他
13.2 %	45.4 %	0.5 %	30.2 %	10.7 %

- ・食品等事業者が多いのは残留農薬等のポジティブリスト制度に関心が高かったためと考えられる。

(3) 参加目的

「本日の「食品に関するリスクコミュニケーション」に参加された目的は次のどれですか。」(6～1月開催の6回分のデータより:複数回答)

1	関係省庁の食品安全行政の取組の内容を知るため	293 (31.5%)
2	リスクコミュニケーションの取組について知るため	260 (27.9%)
3	輸入食品の安全性についての知識を深めるため	335 (36.0%)
4	残留農薬等のポジティブリスト制度についての知識を深めるため	727 (78.1%)
5	常日頃から抱えている食品の安全性に係る意見を行政に表明するため	31 (3.3%)
6	その他	15 (1.6%)

- ・残留農薬等のポジティブリスト制度の勉強目的という理由を挙げた人が4分の3を占めている。

(4) 参加者の理解度・満足度

①「演者からの説明についてお伺いします。その説明内容について、十分に理解することができましたか。」

できた	164	(17.6%)
おおむねできた	652	(70.0%)
あまりできなかった	101	(10.9%)
できなかった	4	(0.4%)

・「できた」「おおむねできた」で87.6%を占め、大半の参加者には理解されたことがわかる。できなかった方の理由としては用語などが理解しにくいという意見が多かった。

②「本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。意見交換は分かりやすく、議論の内容等について理解できましたか。」

できた	122	(13.1%)
おおむねできた	600	(64.5%)
あまりできなかった	121	(13.0%)
できなかった	9	(1.0%)

・後半のパネルディスカッション及び意見交換の部分の理解度を当質問であるが、約77.6%の参加者が「できた」「おおむねできた」と回答している。

③「本日のリスクコミュニケーションの内容についてお尋ねします。満足できましたか。」

できた	62	(6.7%)
おおむねできた	547	(58.8%)
あまりできなかった	212	(22.8%)
できなかった	19	(2.0%)

・約65%の方がおおむね満足している一方、約2割の方が「あまりできなかった」「できなかった」と回答している。理由としては「説明が一方向的で意見交換になっていない」を57名、「論点がぼやけるなど意見交換のすすめ方に問題がある」を81名が挙げている。

(※参加者の立場別の理解度等のデータは別紙2参照)

(5) 参加前後の理解度の変化

①輸入食品の安全対策について

参加前	知っていた	688名	73.9%
	知らなかった	188名	20.2%
参加後	理解が深まった	557名	59.8%
	変化なかった	297名	31.9%
	わからなくなった	12名	1.3%

②ポジティブリスト制度の内容について

参加前	知っていた	634名	68.1%
	知らなかった	248名	26.6%
参加後	理解が深まった	536名	57.6%
	変化なかった	299名	32.1%
	わからなくなった	28名	3.0%

・輸入食品の安全対策について、及びポジティブリスト制度について、両方とも約6割の参加者が、参加後に理解が深まったと回答していることから、開催の成果がみられる一方、参加して安心感が高まったとの回答は、変化がなかったという回答よりも少ない数にとどまっている。（※別紙3参照）

(6) 記述された意見について

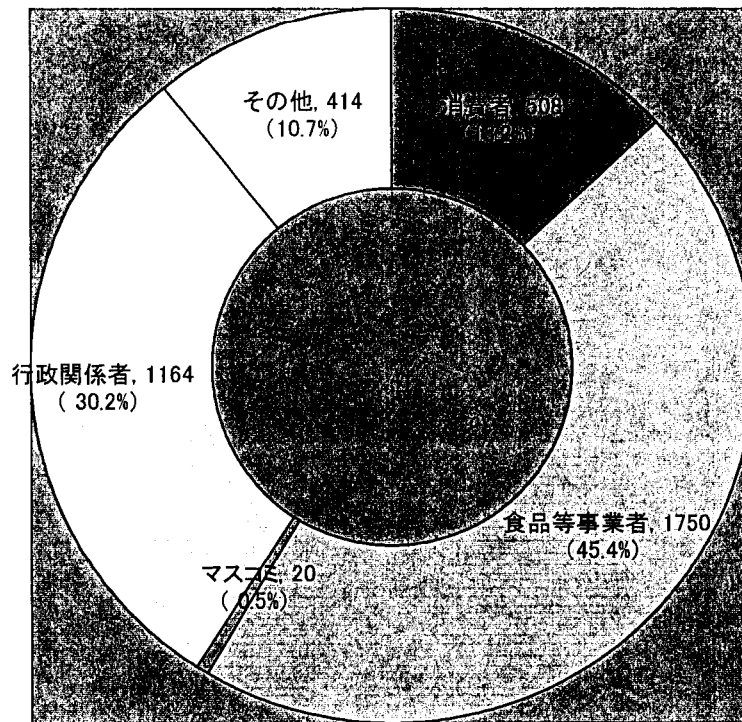
（※主な意見の一覧（抜粋）は別紙4参照）

・テーマとしてポジティブリスト制度と輸入食品の安全確保を取り上げたことについて、内容が盛りだくさんになったため、テーマを1つに絞るべきという意見もあった。時間配分については意見交換の時間が短かったというものが多かった。

・同じ説明を聴いても参加者によって、難しいという意見と、反対に易しすぎるという意見があった。説明内容及び資料については、特に専門知識のない人にもわかるように、できるだけ平易にしているため、消費者の立場からの参加者からはわかりやすいという意見が多かったが、食品等事業者などからはもっと詳しい内容が知りたかったという意見が多かった。

・消費者、事業者、生産者を分けて開催すべきという意見がある一方、様々な立場の方が一同に参加したため、いろんな意見が聞けてよかったという感想もあった。

輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会の参加者の構成
(7回分の申込者数より)



◇理解度・満足度について

①説明の理解度

	できた		おおむねできた		あまりできなかった		できなかった	
	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)
消費者	13	8.2%	112	70.9%	33	20.9%	0	0.0%
食品等事業者	48	13.9%	257	74.5%	36	10.4%	4	1.2%
マスコミ関係	5	25.0%	14	70.0%	1	5.0%	0	0.0%
地方公共団体職員	65	23.3%	190	68.1%	24	8.6%	0	0.0%
試験検査施設	17	30.4%	36	64.3%	3	5.4%	0	0.0%
その他	16	28.1%	37	64.9%	4	7.0%	0	0.0%
計	164	17.9%	646	70.6%	101	11.0%	4	0.4%

②意見交換の理解度

	できた		おおむねできた		あまりできなかった		できなかった	
	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)
消費者	19	13.7%	88	63.3%	30	21.6%	2	1.4%
食品等事業者	37	11.6%	225	70.8%	51	16.0%	5	1.6%
マスコミ関係	2	12.5%	14	87.5%	0	0.0%	0	0.0%
地方公共団体職員	39	14.6%	201	75.0%	27	10.1%	1	0.4%
試験検査施設	13	24.1%	34	63.0%	6	11.1%	1	1.9%
その他	12	24.5%	30	61.2%	7	14.3%	0	0.0%
計	122	14.5%	592	70.1%	121	14.3%	9	1.1%

③意見交換会の満足度

	できた		おおむねできた		あまりできなかった		できなかった	
	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)	(人)	割合(%)
消費者	9	6.6%	87	63.5%	39	28.5%	2	1.5%
食品等事業者	10	3.2%	205	66.1%	85	27.4%	10	3.2%
マスコミ関係	2	11.1%	11	61.1%	5	27.8%	0	0.0%
地方公共団体職員	29	10.9%	177	66.8%	57	21.5%	2	0.8%
試験検査施設	8	14.3%	34	60.7%	12	21.4%	2	3.6%
その他	5	10.2%	31	63.3%	11	22.4%	2	4.1%
計	63	7.5%	545	65.3%	209	25.0%	18	2.2%

◇認識の変化について

①輸入食品の安全対策

意見交換会に参加する前		意見交換に参加した後	
安心していた	140 (16.1 %)	安心感が高まった	56 (40.0 %)
		変化なかった	81 (57.9 %)
		不安感が高まった	0 (0.0 %)
		無回答	3 (2.1 %)
どちらとも言えない	543 (62.3 %)	安心感が高まった	98 (18.0 %)
		変化なかった	414 (76.2 %)
		不安感が高まった	11 (2.0 %)
		無回答	20 (3.7 %)
不安だった	189 (21.7 %)	安心感が高まった	45 (23.8 %)
		変化なかった	102 (54.0 %)
		不安感が高まった	33 (17.5 %)
		無回答	9 (4.8 %)

②残留農薬等のポジティブリスト制度への印象

意見交換会に参加する前		意見交換に参加した後	
安心していた	136 (15.7 %)	安心感が高まった	71 (52.2 %)
		変化なかった	52 (38.2 %)
		不安感が高まった	4 (2.9 %)
		無回答	9 (6.6 %)
どちらとも言えない	543 (62.8 %)	安心感が高まった	118 (21.7 %)
		変化なかった	393 (72.4 %)
		不安感が高まった	23 (4.2 %)
		無回答	9 (1.7 %)
不安だった	185 (21.4 %)	安心感が高まった	26 (14.1 %)
		変化なかった	101 (54.6 %)
		不安感が高まった	51 (27.6 %)
		無回答	7 (3.8 %)

輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会のアンケートに寄せられた意見 (抜粋)

◆開催の企画全般・構成について

このような説明、交換会に初めて参加させていただきました。消費者として、もっと勉強の必要を感じました。

リスクコミュニケーションの主旨が理解できた。

開催の目的が、どこにあるのかを考えさせられる。行政としてやっている事の啓発なのか、啓発を通じて消費者の立場を考えているのか。

説明会と意見交換会を分けたことについては、知識を深めた上で意見交換ができるためよかったと思う。(地方公共団体職員)

テーマに関する説明については自分を納得させるものが多かったが、ディスカッション後の質疑応答になり、消費者として今迄が無知であったような気がした。消費者の知らない部分での問題点の多さに驚くと同時に不安な部分が多くなった。(消費者)

テーマを農業に絞るべきと思いました。(食品等事業者)

はじめにテーマについて理解が深まり、その後消費者の求める所、行政の考え方、方向性などが聞いた点がわかりやすくよかった。(食品等事業者)

消費者向けであれば土日にするべき

情報の共有と言う点では良かったと思う。(マスコミ)

盛りだくさんで、時間内に終わらせるため、説明が性急すぎるくらいがあった。理解していくのに困難。特にポジティブリストは分からない。(消費者)

◆参加者の構成・募集方法

一般消費者が参加できる機会(場)とは言えない。一部の消費者だけが知り得る情報なので、広く知らせる手段の検討はないものか。

立場の違う人の意見が直接聞けて、考えられたところ。(製造・加工業)

一般消費者、食品関係業者など違った立場の方々が一堂に介して食品安全について話し合いができることは良かった。(消費者)

一般参加者の意見、またそれに対する政府の回答が同時に聞けて大変勉強になった。(地方公共団体職員)

消費者だけでなく生産者の意見も知ることができた。消費者としては農薬の基準値が低い方がいいと考えてしまうけれど、生産する側にとっては難しくもなることなのだと思います。(その他)

・リスクコミュニケーションは必要とは思いますが、消費者と事業者を一同に開催するとそのレベルが目的とすることが異なる。二者は分けて開催すべきと考える。(食品等事業者)

◆説明内容の難易度について

・消費者向けの内容として簡単に表現されていたと思う。(消費者)

・業者対象にあたるような専門的なことについては、別途機会を設けるべきではないのか。(消費者)

・内容が物足りない。(食品等事業者)

・もっと深く、今回レベルは誰でも知っている。(食品等事業者)

◆スライド・資料・会場について

PPの原稿が手元にあり、とても助かった。前の画面が大きくても見づらいところもあるので、これからもこの方法で行って欲しい。

パネルディスカッションのパネラーの姿が見えず高くなった方が良かった。

手本に資料があるのでスライドは不必要だと思います。照明を明るくした方が良かったと思います。(消費者)

◆パネルディスカッション・意見交換について

(よかった点)質問者の時間を区切った点。

参加者にいろいろ質問させて下さってその点はとても良かった。(消費者)

質問時間が多く有意義、また会社名を聞かれなかったので答えやすかった。(食品等事業者)

一問一答にせず、いくつかの意見にまとめて回答した方が良かったのでは？(食品等事業者)

パネルディスカッションの消費者・行政・生産者・各々の横の意見交換は必要ない。事前にアンケート(質問)を取り、それに対し、各専門家が答えるような方式をとったほうが効率が良いしテーマ(内容)も絞られて良いと思う。(製造・加工業)

消費者代表が私の思っていることを発言してくれてよかった。(消費者)

説明だけでなく、パネルディスカッションを行う事によって、説明だけではびんと来なかった事の理解も進んだのでは？(食品等事業者)

◆時間配分について

意見交換の時間が長くとられていて、様々な視点で意見を聞くことができて良かったです。(消費者)

時間が短く感じた。午前中から始め、もっと聞きたかった。(製造・加工業)

拘束時間が長すぎる。(消費者)

前半の説明部分はあまり長くない方がよい。もっと皆からの意見を聞く時間をとって欲しかった。(食品等事業者)

◆事前質問への回答について

事前質問にペーパーで回答いただいた点。(マスコミ関係)

事前の意見・質問に対する回答について、有効なものも多いかと思われるので、もう少し説明の時間があっても良かったのでは。(地方公共団体職員)